

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	新興国国債マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資環境の急変が起きた場合等には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	新興国国債マザーファンド	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国国債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、1月、4月、7月、10月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## 運用報告書(全体版)

# 新興国国債オープン (毎月決算型) (愛称 アトラス (毎月決算型))

第198期(決算日 2024年3月12日) 第201期(決算日 2024年6月12日)  
第199期(決算日 2024年4月12日) 第202期(決算日 2024年7月12日)  
第200期(決算日 2024年5月13日) 第203期(決算日 2024年8月13日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「新興国国債オープン (毎月決算型) (愛称 アトラス (毎月決算型))」は、2024年8月13日に第203期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間(第198期～第203期)の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。  
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債券組入率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
174期(2022年3月14日)	3,086	10	△4.1	256.724	△7.3	91.3	—	3,717
175期(2022年4月12日)	3,328	10	8.2	276.851	7.8	91.9	—	3,960
176期(2022年5月12日)	3,241	10	△2.3	270.114	△2.4	87.8	—	3,803
177期(2022年6月13日)	3,341	10	3.4	282.279	4.5	92.8	—	3,864
178期(2022年7月12日)	3,263	10	△2.0	276.723	△2.0	88.0	—	3,738
179期(2022年8月12日)	3,339	10	2.6	281.919	1.9	95.7	—	3,799
180期(2022年9月12日)	3,497	10	5.0	295.743	4.9	93.3	—	3,926
181期(2022年10月12日)	3,392	10	△2.7	286.901	△3.0	93.3	—	3,778
182期(2022年11月14日)	3,326	10	△1.7	285.877	△0.4	93.7	—	3,627
183期(2022年12月12日)	3,327	10	0.3	287.348	0.5	93.2	—	3,606
184期(2023年1月12日)	3,335	10	0.5	289.115	0.6	90.9	—	3,594
185期(2023年2月13日)	3,283	10	△1.3	285.745	△1.2	93.8	—	3,505
186期(2023年3月13日)	3,317	10	1.3	291.033	1.9	92.3	—	3,504
187期(2023年4月12日)	3,388	10	2.4	297.677	2.3	93.4	—	3,541
188期(2023年5月12日)	3,444	10	1.9	303.284	1.9	93.6	—	3,558
189期(2023年6月12日)	3,574	10	4.1	317.003	4.5	93.3	—	3,664
190期(2023年7月12日)	3,632	10	1.9	321.645	1.5	86.8	—	3,687
191期(2023年8月14日)	3,738	10	3.2	333.059	3.5	90.6	—	3,762
192期(2023年9月12日)	3,693	10	△0.9	329.751	△1.0	90.4	—	3,686
193期(2023年10月12日)	3,661	10	△0.6	329.595	△0.0	93.7	—	3,630
194期(2023年11月13日)	3,796	10	4.0	341.216	3.5	94.5	—	3,733
195期(2023年12月12日)	3,720	10	△1.7	337.273	△1.2	95.5	—	3,618
196期(2024年1月12日)	3,822	10	3.0	344.924	2.3	93.9	—	3,689
197期(2024年2月13日)	3,845	10	0.9	349.542	1.3	95.0	—	3,672
198期(2024年3月12日)	3,832	10	△0.1	348.275	△0.4	93.8	—	3,627
199期(2024年4月12日)	3,887	10	1.7	357.151	2.5	95.9	—	3,662
200期(2024年5月13日)	3,923	10	1.2	364.077	1.9	91.2	—	3,681
201期(2024年6月12日)	3,877	10	△0.9	362.041	△0.6	93.4	—	3,608
202期(2024年7月12日)	4,035	10	4.3	374.565	3.5	92.6	—	3,738
203期(2024年8月13日)	3,797	10	△5.7	354.410	△5.4	92.3	—	3,492

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 率 比	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第198期	(期 首) 2024年2月13日	円 3,845	% —	ポイント 349.542	% —	% 95.0	% —
	2月末	3,867	0.6	352.738	0.9	95.3	—
	(期 末) 2024年3月12日	3,842	△0.1	348.275	△0.4	93.8	—
第199期	(期 首) 2024年3月12日	3,832	—	348.275	—	93.8	—
	3月末	3,879	1.2	354.860	1.9	94.2	—
	(期 末) 2024年4月12日	3,897	1.7	357.151	2.5	95.9	—
第200期	(期 首) 2024年4月12日	3,887	—	357.151	—	95.9	—
	4月末	3,897	0.3	361.236	1.1	94.3	—
	(期 末) 2024年5月13日	3,933	1.2	364.077	1.9	91.2	—
第201期	(期 首) 2024年5月13日	3,923	—	364.077	—	91.2	—
	5月末	3,932	0.2	365.932	0.5	93.1	—
	(期 末) 2024年6月12日	3,887	△0.9	362.041	△0.6	93.4	—
第202期	(期 首) 2024年6月12日	3,877	—	362.041	—	93.4	—
	6月末	3,971	2.4	370.140	2.2	92.7	—
	(期 末) 2024年7月12日	4,045	4.3	374.565	3.5	92.6	—
第203期	(期 首) 2024年7月12日	4,035	—	374.565	—	92.6	—
	7月末	3,841	△4.8	362.724	△3.2	92.6	—
	(期 末) 2024年8月13日	3,807	△5.7	354.410	△5.4	92.3	—

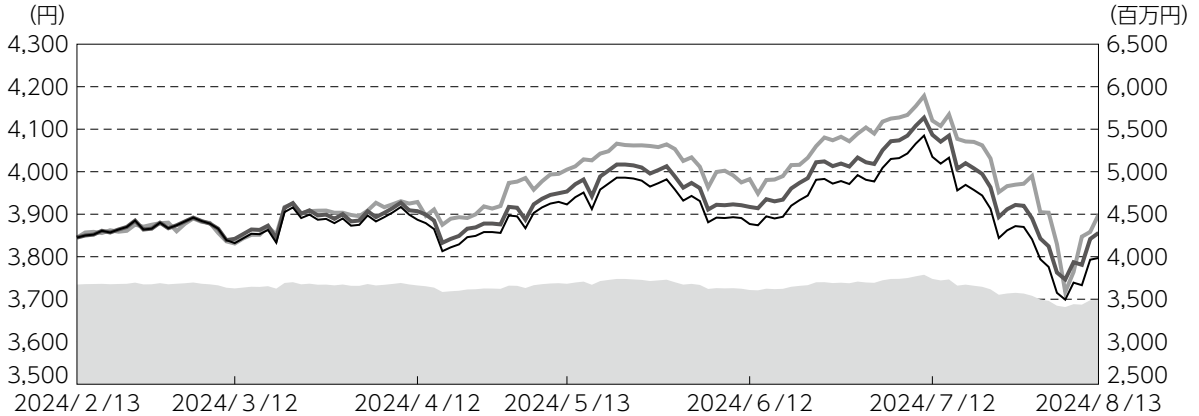
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2024年2月14日～2024年8月13日）



— 基準価額 (左軸)  
 — 分配金再投資基準価額 (左軸)  
 — GB I-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) (左軸)  
 — 純資産総額 (右軸)

第198期首：3,845円

第203期末：3,797円（既払分配金（税引前）：60円）

騰落率：0.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、GB I-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2024年2月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「新興国債マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・新興国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・南アフリカ、ペルーなどの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・マレーシアリングgit、南アフリカランドなどの投資通貨が対円で上昇したこと。

#### (主なマイナス要因)

- ・ブラジルリアル、メキシコペソなどの投資通貨が対円で下落したこと。

**投資環境**

（2024年2月14日～2024年8月13日）

**<新興国の国債市場>**

新興国の国債市場では、米連邦準備制度理事会（F R B）による早期利下げ観測が後退したことを受けて、米国債に連動し利回り上昇（価格は下落）を試す動きが先行しました。また、4月以降は政府の財政政策に対する懸念等を背景に、ブラジルやメキシコなどの国債利回りの上昇が顕著となる局面も見られました。しかし、6月中旬以降は、新興国全般の国債利回り上昇に歯止めがかかるとともに、南アフリカなど国債利回りが低下（価格は上昇）に転じる国が増えてきました。作成期末にかけては、F R Bの9月以降の大幅利下げを織り込む動きが強まったことから、新興国の国債利回りは総じて低下（価格は上昇）基調となりました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）であるJ Pモルガン社のG B I - E Mブロード・ディバーシファイド指数の平均利回りは、前作成期末の6.26%から6.29%へ小幅上昇しました。

**<為替市場>**

為替市場では、米国の早期利下げ観測が後退したことや、日銀が3月のマイナス金利解除後も緩和的な金融政策を維持する姿勢を示したことなどを受けて、ドル／円の上昇に連動し多くの新興国通貨が対円で上値を試す展開となりました。しかし、7月中旬以降は、日米金利差の縮小観測を背景に対ドル中心に円売りポジションの解消が加速し、円が全面高となる中、新興国通貨が対円で急落しました。ただ、作成期末にかけては、世界的に株価が戻り歩調となる中、新興国通貨が下げ幅を縮小する動きとなりました。このような環境下、当作成期間においては、マレーシアリングgitなど5通貨が対円で上昇、メキシコペソなど6通貨が下落しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2024年2月14日～2024年8月13日）

**<新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>**

「新興国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

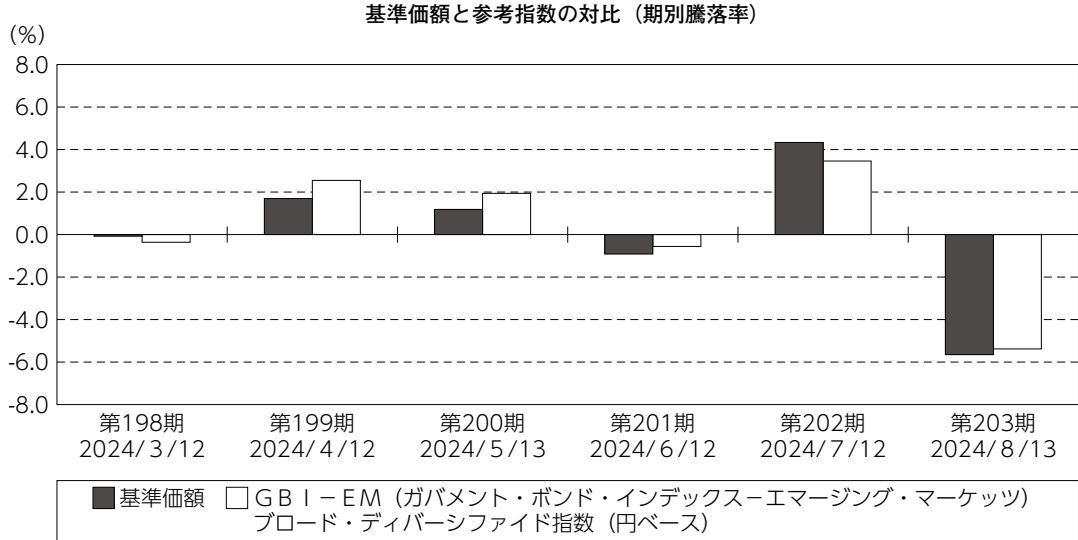
## ○新興国債マザーファンド

J Pモルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当作成期間においては、11カ国、11通貨（日本および円は除いています）に投資を行いました。当作成期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。作成期末時点の新興国国債の投資比率は92.7%、外貨の投資比率は96.0%、投資国上位は、ブラジル、インドネシア、南アフリカ、マレーシアとなっています。前作成期末からの主な変化は、トルコの投資比率が上昇する一方、メキシコ、ポーランドの投資比率が低下しました。ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、作成期末時点で4.50年となり、前作成期末と比較し短期化となりました。なお、4月中旬から5月上旬には、短期的に新興国通貨の下落リスクが高まったと判断し、投資通貨に対し一部為替ヘッジ（ファンドの純資産の20%程度）を行いました。為替ヘッジの効果はマイナスとなりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年2月14日～2024年8月13日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているJPモルガン社の「GBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）」の騰落率を1.1%下回りました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、GBI-E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマーシング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

## 分配金

（2024年2月14日～2024年8月13日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、每期1万口当たり10円（税引前）、合計60円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
	2024年2月14日～ 2024年3月12日	2024年3月13日～ 2024年4月12日	2024年4月13日～ 2024年5月13日	2024年5月14日～ 2024年6月12日	2024年6月13日～ 2024年7月12日	2024年7月13日～ 2024年8月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.260%	10 0.257%	10 0.254%	10 0.257%	10 0.247%	10 0.263%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	218	225	234	241	279	285

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### （投資環境の見通し）

米国の利下げ局面入りが予想されることから、今後は新興国の多くが緩和的な金融政策を採用する可能性が高いと見ており、各国の国債利回りが低下する展開を想定しています。一方、足元では各国政府の財政規律に対する信認低下が国債利回りの上昇につながるケースが散見されていることから、今後も各国の財政政策に対する注目度が高い局面が続くと考えています。

為替市場では、2024年7月中旬から8月上旬にかけて、円が全面高の展開となりました。しかし、この過程で、投機的な円売りポジションの多くが解消を余儀なくされた可能性が高いと見ています。また、日銀の利上げ後に日経平均株価が暴落するなど金融市場全般が大混乱となったことは、今後の日銀の利上げを一定程度抑制する要因になると判断しています。一方、今後米国が利下げ局面入りすることで、相対的に利回り水準の高い新興国への投資資金の流入増加が期待されます。このため、新興国通貨は対円で底堅く推移する展開を想定しています。

### （運用方針）

#### <新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>

主要投資対象である「新興国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は概ね99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

#### ○新興国債マザーファンド

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としているJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年 2 月14日～2024年 8 月13日）

項 目	第198期～第203期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	28 (13) (13) ( 2)	0.711 (0.339) (0.328) (0.044)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 ( 2) ( 0) ( 0)	0.047 (0.040) (0.007) (0.000)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	30	0.758	
作成期間中の平均基準価額は、3,897円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

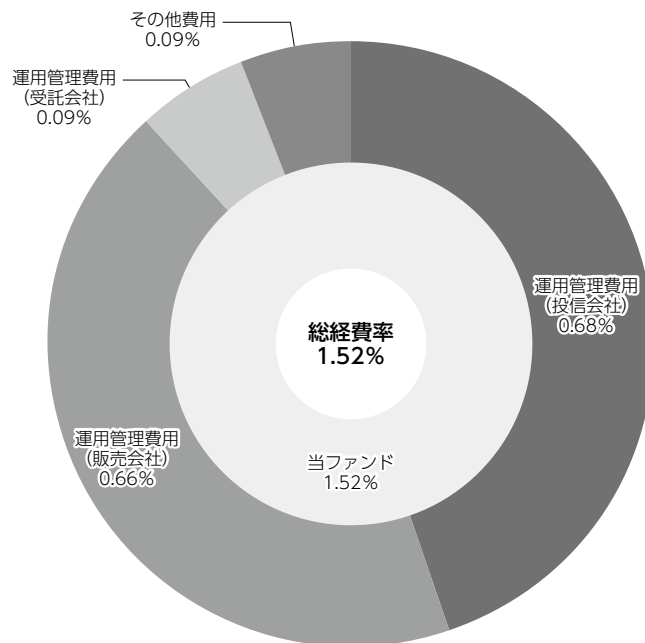
(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。



（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.52%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年2月14日～2024年8月13日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第 198 期 ～ 第 203 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国国債マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 125,234	千円 220,706

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2024年2月14日～2024年8月13日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2024年8月13日現在）

親投資信託残高

銘柄	第 197 期 末	第 203 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国国債マザーファンド	千口 2,125,873	千口 2,000,639	千円 3,475,910

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

（2024年8月13日現在）

項 目	第 203 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国債マザーファンド	3,475,910	99.1
コール・ローン等、その他	32,968	0.9
投資信託財産総額	3,508,878	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）新興国債マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（3,422,592千円）の投資信託財産総額（3,563,467千円）に対する比率は96.0%です。

（注）外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.7334円、1ブラジルレアル=26.7967円、1ペルーソル=39.3492円、1トルコリラ=4.3981円、1ポーランドズロチ=37.3936円、1ロシアルーブル=1.62円、1マレーシアリンギット=33.1041円、1タイバーツ=4.19円、1インドネシアルピア=0.0093円、1南アフリカランド=8.07円、1オフショア元=20.5173円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第198期末	第199期末	第200期末	第201期末	第202期末	第203期末
	2024年3月12日現在	2024年4月12日現在	2024年5月13日現在	2024年6月12日現在	2024年7月12日現在	2024年8月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,644,842,150	3,676,773,705	3,697,517,803	3,628,523,212	3,755,099,047	3,508,878,949
コール・ローン等	34,539,085	32,865,774	32,097,298	35,548,647	32,956,644	32,968,217
新興国債マザーファンド(評価額)	3,610,303,065	3,643,907,889	3,665,420,462	3,592,974,517	3,722,142,357	3,475,910,559
未収利息	—	42	43	48	46	173
(B) 負債	17,726,847	14,703,743	15,812,399	20,366,097	16,118,568	16,390,285
未払収益分配金	9,466,150	9,422,415	9,383,756	9,306,306	9,267,440	9,197,177
未払解約金	4,198,150	789,526	1,968,840	6,685,509	2,479,934	2,664,130
未払信託報酬	4,025,005	4,450,450	4,419,021	4,334,287	4,331,225	4,487,566
未払利息	9	—	—	—	—	—
その他未払費用	37,533	41,352	40,782	39,995	39,969	41,412
(C) 純資産総額(A－B)	3,627,115,303	3,662,069,962	3,681,705,404	3,608,157,115	3,738,980,479	3,492,488,664
元本	9,466,150,314	9,422,415,184	9,383,756,301	9,306,306,421	9,267,440,961	9,197,177,934
次期繰越損益金	△5,839,035,011	△5,760,345,222	△5,702,050,897	△5,698,149,306	△5,528,460,482	△5,704,689,270
(D) 受益権総口数	9,466,150,314口	9,422,415,184口	9,383,756,301口	9,306,306,421口	9,267,440,961口	9,197,177,934口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,832円	3,887円	3,923円	3,877円	4,035円	3,797円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第198期5,839,035,011円、第199期5,760,345,222円、第200期5,702,050,897円、第201期5,698,149,306円、第202期5,528,460,482円、第203期5,704,689,270円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第198期0.3832円、第199期0.3887円、第200期0.3923円、第201期0.3877円、第202期0.4035円、第203期0.3797円です。

（注）当ファンドの第198期首元本額は9,551,627,820円、第198～203期中追加設定元本額は12,694,572円、第198～203期中一部解約元本額は367,144,458円です。

## ○損益の状況

項 目	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
	2024年2月14日～ 2024年3月12日	2024年3月13日～ 2024年4月12日	2024年4月13日～ 2024年5月13日	2024年5月14日～ 2024年6月12日	2024年6月13日～ 2024年7月12日	2024年7月13日～ 2024年8月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 156	565	880	885	782	2,053
受取利息	2	587	880	885	782	2,053
支払利息	△ 158	△ 22	—	—	—	—
(B) 有価証券売買損益	743,628	65,591,683	48,476,516	△ 29,528,558	159,487,053	△ 204,470,062
売買益	930,738	65,798,866	48,541,364	405,892	159,904,412	1,100,389
売買損	△ 187,110	△ 207,183	△ 64,848	△ 29,934,450	△ 417,359	△ 205,570,451
(C) 信託報酬等	△ 4,062,439	△ 4,491,626	△ 4,459,803	△ 4,374,282	△ 4,371,194	△ 4,528,978
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,318,967	61,100,622	44,017,593	△ 33,901,955	155,116,641	△ 208,996,987
(E) 前期繰越損益金	△ 2,814,024,897	△ 2,812,923,544	△ 2,749,325,517	△ 2,691,842,499	△ 2,722,476,204	△ 2,556,732,375
(F) 追加信託差損益金	△ 3,012,224,997	△ 2,999,099,885	△ 2,987,359,217	△ 2,963,098,546	△ 2,951,833,479	△ 2,929,762,731
(配当等相当額)	( 56,710,726)	( 56,492,700)	( 56,295,238)	( 55,856,822)	( 55,695,179)	( 55,302,158)
(売買損益相当額)	(△ 3,068,935,723)	(△ 3,055,592,585)	(△ 3,043,654,455)	(△ 3,018,955,368)	(△ 3,007,528,658)	(△ 2,985,064,889)
(G) 計(D+E+F)	△ 5,829,568,861	△ 5,750,922,807	△ 5,692,667,141	△ 5,688,843,000	△ 5,519,193,042	△ 5,695,492,093
(H) 収益分配金	△ 9,466,150	△ 9,422,415	△ 9,383,756	△ 9,306,306	△ 9,267,440	△ 9,197,177
次期繰越損益金(G+H)	△ 5,839,035,011	△ 5,760,345,222	△ 5,702,050,897	△ 5,698,149,306	△ 5,528,460,482	△ 5,704,689,270
追加信託差損益金	△ 3,012,224,997	△ 2,999,099,885	△ 2,987,359,217	△ 2,963,098,546	△ 2,951,833,479	△ 2,929,762,731
(配当等相当額)	( 56,712,141)	( 56,495,168)	( 56,297,531)	( 55,858,505)	( 55,700,304)	( 55,303,598)
(売買損益相当額)	(△ 3,068,937,138)	(△ 3,055,595,053)	(△ 3,043,656,748)	(△ 3,018,957,051)	(△ 3,007,533,783)	(△ 2,985,066,329)
分配準備積立金	150,248,372	156,285,207	164,193,854	169,084,156	202,953,617	207,718,793
繰越損益金	△ 2,977,058,386	△ 2,917,530,544	△ 2,878,885,534	△ 2,904,134,916	△ 2,779,580,620	△ 2,982,645,332

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
(a) 配当等収益(費用控除後)	10,286,041円	16,170,667円	17,938,061円	15,528,753円	43,892,096円	15,473,916円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	56,712,141円	56,495,168円	56,297,531円	55,858,505円	55,700,304円	55,303,598円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	149,428,481円	149,536,955円	155,639,549円	162,861,709円	168,328,961円	201,442,054円
分配対象収益(a+b+c+d)	216,426,663円	222,202,790円	229,875,141円	234,248,967円	267,921,361円	272,219,568円
分配対象収益(1万口当たり)	228円	235円	244円	251円	289円	295円
分配金額	9,466,150円	9,422,415円	9,383,756円	9,306,306円	9,267,440円	9,197,177円
分配金額(1万口当たり)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

## ○分配金のお知らせ

	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期
1万口当たり分配金(税引前)	10円	10円	10円	10円	10円	10円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取寄申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

### 用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>資産</b>	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
<b>負債</b>	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
<b>純資産総額(資産－負債)</b>	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
<b>受益権総口数</b>	受益者が保有する受益権口数の合計です。
<b>1(万)口当たり基準価額</b>	1(万)口当たりのファンドの時価です。

### 用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
<b>配当等収益</b>	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
<b>有価証券売買損益</b>	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
<b>信託報酬等</b>	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
<b>当期損益金</b>	当期における収支合計です。
<b>前期繰越損益金</b>	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
<b>追加信託差損益金</b>	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
<b>計</b>	収益分配前の期中の収支の総合計です。
<b>収益分配金</b>	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
<b>次期繰越損益金</b>	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

## 新興国国債マザーファンド 第17期 運用状況のご報告 決算日：2024年8月13日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてJPモルガン社のGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバースファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等（以下、「新興国の国債等」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	新興国の国債等を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバースファイド指数 (円ベース)		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	期騰落	中率	(参考指数)	期騰落			
13期(2020年8月12日)	円	%	ポイント		%	%	百万円
	12,143	3.6	249.800		82.5	—	5,379
14期(2021年8月12日)	12,841	5.7	269.446		85.0	—	4,820
15期(2022年8月12日)	13,883	8.1	281.919		96.1	—	3,844
16期(2023年8月14日)	16,335	17.7	333.059		91.0	—	3,828
17期(2024年8月13日)	17,374	6.4	354.410		92.7	—	3,563

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバースファイド指数 (円ベース) は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。GBI-EM (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバースファイド指数 (円ベース) は、当該日前営業日のデータです。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2023年8月14日	円 16,335	% —	ポイント 333.059	% —	% 91.0	% —
8月末	16,428	0.6	335.174	0.6	90.7	—
9月末	16,070	△ 1.6	328.845	△ 1.3	91.0	—
10月末	16,027	△ 1.9	328.627	△ 1.3	94.4	—
11月末	16,803	2.9	343.422	3.1	95.4	—
12月末	16,680	2.1	335.821	0.8	93.6	—
2024年1月末	17,015	4.2	345.773	3.8	95.0	—
2月末	17,308	6.0	352.738	5.9	95.7	—
3月末	17,429	6.7	354.860	6.5	94.6	—
4月末	17,577	7.6	361.236	8.5	94.6	—
5月末	17,803	9.0	365.932	9.9	93.5	—
6月末	18,046	10.5	370.140	11.1	93.1	—
7月末	17,519	7.2	362.724	8.9	92.8	—
(期 末) 2024年8月13日	17,374	6.4	354.410	6.4	92.7	—

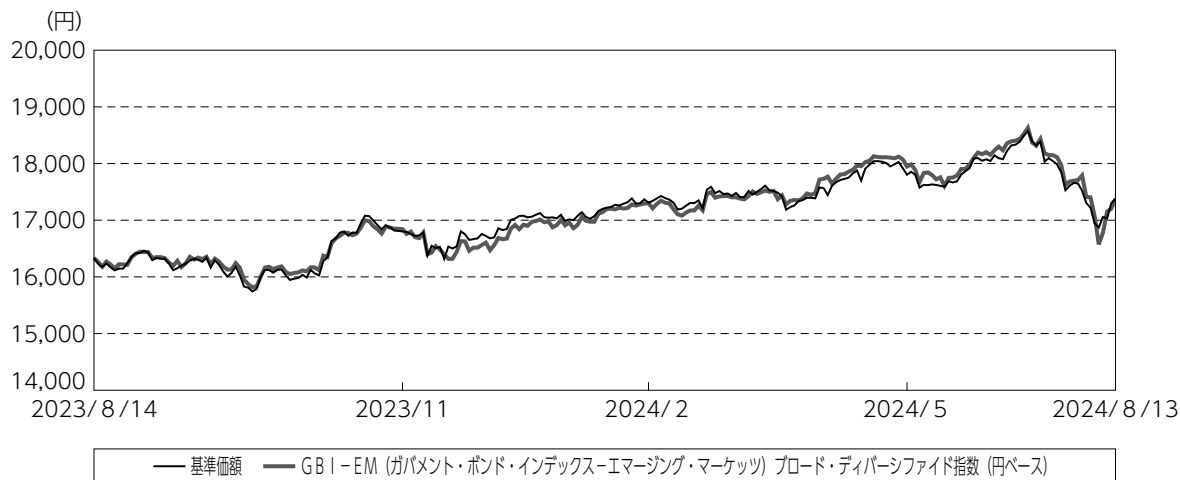
(注) 騰落率は期首比。

G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) は、J.P.Morgan Securities Inc. が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc. が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数で、2003年1月1日より算出されております。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

(2023年8月15日～2024年8月13日)



(注) 参考指数は、GB I-EM (ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース) です。

(注) 参考指数は、期首 (2023年8月14日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

#### (主なプラス要因)

- ・新興国国債への投資により、安定的な利息収入を獲得したこと。
- ・南アフリカ、ペルーなどの投資国において、保有債券の利回りが低下し価格が上昇したこと。
- ・南アフリカランド、マレーシアリングgitなどの投資通貨が対円で上昇したこと。

#### (主なマイナス要因)

- ・ブラジルリアル、メキシコペソなどが対円で下落したこと。



**投資環境**

(2023年8月15日～2024年8月13日)

**<新興国の国債市場>**

新興国の国債市場では、米連邦準備制度理事会（F R B）による金融引き締め長期化観測等を背景に利回り上昇（価格は下落）が先行したものの、2023年末にかけてはF R Bの利上げ打ち止めや早期利下げを織り込む動きから、利回りが低下（価格は上昇）しました。また、ブラジルやペルーなど一部の新興国では段階的に利下げが実施され、利回り低下を後押しすることとなりました。しかし、2024年に入ると、F R Bの早期利下げ観測の後退とともに、米国債に連動し利回りが上昇しました。また、4月以降は政府の財政政策に対する懸念等を背景に、ブラジルやメキシコなどの国債利回りの上昇が顕著となる局面も見られました。しかし、6月中旬以降は、新興国全般の国債利回り上昇に歯止めがかかるとともに、南アフリカなど国債利回りが低下に転じる国が増えてきました。当期末にかけては、F R Bの9月以降の大幅利下げを織り込む動きが強まったことから、新興国の国債利回りは総じて低下基調となりました。このような環境下、当ファンドの参考指数（運用実績を評価するためのベンチマークではありません）であるJ Pモルガン社のG B I - E Mブロード・ディバーシファイド指数の平均利回りは、前期末の6.39%から6.29%へ低下しました。

**<為替市場>**

為替市場では、新興国への投資資金の流入期待が強まり、2023年11月には新興国通貨が一時全面高となりましたが、年末にかけては日本と主要先進国との内外金利差縮小が円高要因となり、新興国通貨が対円で下落しました。2024年に入ると、米国の早期利下げ観測が後退したことや、日銀が3月のマイナス金利解除後も緩和的な金融政策を維持する姿勢を示したことなどを受けて、ドル/円の上昇に連動し多くの新興国通貨が対円で上値を試す展開となりました。しかし、7月中旬以降は、日米金利差の縮小観測を背景に対ドル中心に円売りポジションの解消が加速し、円が全面高となる中、新興国通貨が対円で急落しました。ただ、期末にかけては、世界的に株価が戻り歩調となる中、新興国通貨が下げ幅を縮小する動きとなりました。このような環境下、当期間においては、南アフリカランドなど6通貨が対円で上昇、トルコリラなど5通貨が下落しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2023年8月15日～2024年8月13日)

J Pモルガン社のG B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、国内総生産（GDP）、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ等を総合的に判断し、投資国および投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本および円は除いていません）に投資を行いました。当期間における新興国の国債および通貨の投資比率は、投資環境に応じて機動的に変化させました。期末時点の新興国国債の投資比率は92.7%、外貨の投資比率は96.0%、投資国上位は、ブラジル、インドネシア、南アフリカ、マレーシアとなっています。前期末からの主な変化は、トルコ、南アフリカの投資比率が上昇する一方、中国、メキシコの投資比率が低下しました。ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、期末時点で4.50年となり、前期末と比較し短期化となりました。なお、2023年10月上旬、2024年4月中旬から5月上旬には、短期的に新興国通貨の下落リスクが高まったと判断し、投資通貨に対し一部為替ヘッジ（ファンドの純資産の20%程度）を行いました。為替ヘッジの効果はマイナスとなりました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2023年8月15日～2024年8月13日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としている J P モルガン社の「G B I - E M (ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット) ブロード・ディバーシファイド指数 (円ベース)」の騰落率とほぼ同程度となりました。

**今後の運用方針****(投資環境の見通し)**

米国の利下げ局面入りが予想されることから、今後は新興国の多くが緩和的な金融政策を採用する可能性が高いと見ており、各国の国債利回りが低下する展開を想定しています。一方、足元では各国政府の財政規律に対する信認低下が国債利回りの上昇につながるケースが散見されていることから、今後も各国の財政政策に対する注目度が高い局面が続くと考えています。

為替市場では、2024年7月中旬から8月上旬にかけて、円が全面高の展開となりました。しかし、この過程で、投機的な円売りポジションの多くが解消を余儀なくされた可能性が高いと見ています。また、日銀の利上げ後に日経平均株価が暴落するなど金融市場全般が大混乱となったことは、今後の日銀の利上げを一定程度抑制する要因になると判断しています。一方、今後米国が利下げ局面入りすることで、相対的に利回り水準の高い新興国への投資資金の流入増加が期待されます。このため、新興国通貨は対円で底堅く推移する展開を想定しています。

**(運用方針)**

新興国の国債および通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債 (米国、ドイツ、日本) や円のコール・ローン等へシフトする場合があります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針ですが、投資環境の急変が起きた場合には、委託会社の判断により為替ヘッジを行うことがあります。

ロシア国債に関しては、2022年4月以降、当ファンドが投資対象としている J P モルガン社の G B I - E M ブロード・ディバーシファイド指数の構成国から除外されています。現在は外国人投資家による売買および受渡しのための決済が事実上停止されている状況ですが、今後、売買および決済が可能となった際には速やかに売却する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 8 月15日～2024年 8 月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	12 (12)	0.072 (0.071)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金銭信託支払手数料等
(そ の 他)	( 0 )	(0.001)	
合 計	12	0.072	
期中の平均基準価額は、17,058円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2023年 8 月15日～2024年 8 月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 23,466	千メキシコペソ 26,602
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 2,206	千ブラジルリアル 2,021
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 38,753	千トルコリラ — ( 2,000)
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 9,143	千ポーランドズロチ 10,362
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 2,349	千マレーシアリングgit 2,412
	国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 30,641
中国オフショア		国債証券	千オフショア元 —	千オフショア元 14,628

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( ) 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月15日～2024年8月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月13日現在)

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
	外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額				5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 41,000	千メキシコペソ 36,802	千円 284,612	% 8.0	% —	% 8.0	% —	% —
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 19,200	千ブラジルレアル 18,067	484,160	13.6	13.6	9.2	4.3	—
ペ ル ー	千ペルーソル 9,201	千ペルーソル 9,752	383,767	10.8	—	10.8	—	—
ト ル コ	千トルコリラ 40,000	千トルコリラ 39,837	175,207	4.9	4.9	—	1.7	3.3
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 7,000	千ポーランドズロチ 7,415	277,287	7.8	—	7.8	—	—
ロ シ ア	千ロシアルーブル 165,000	千ロシアルーブル 0.00016	0.0002592	0.0	0.0	—	0.0	—
マ レ ー シ ア	千マレーシアリンギット 11,800	千マレーシアリンギット 12,053	399,014	11.2	—	6.9	—	4.3
タ イ	千タイバーツ 45,000	千タイバーツ 44,872	188,016	5.3	—	—	5.3	—
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 48,000,000	千インドネシアルピア 50,575,160	470,348	13.2	—	12.2	—	1.0
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 64,000	千南アフリカランド 57,734	465,918	13.1	13.1	13.1	—	—
中 国 オ フ シ ョ ア	千オフショア元 8,000	千オフショア元 8,550	175,437	4.9	4.9	—	4.9	—
合 計	—	—	3,303,772	92.7	—	67.9	16.2	8.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) B B 格以下組入比率には、無格付を含みます。

新興国国債マザーファンド

(B) 外国(外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄	当期					償還年月日
	利率	額面金額	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
国債証券	MEXICAN BONOS 7.5	7.5	24,000	21,214	164,058	2033/5/26
	MEXICAN BONOS 7.75	7.75	17,000	15,588	120,553	2031/5/29
小計					284,612	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
国債証券	BRAZIL NTN-F 10	10.0	6,000	5,771	154,670	2029/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	10,800	10,079	270,089	2033/1/1
	BRAZIL NTN-F 10	10.0	2,400	2,216	59,401	2035/1/1
小計					484,160	
ペルー			千ペルーソル	千ペルーソル		
国債証券	PERU B SOBERANO 7.3	7.3	9,201	9,752	383,767	2033/8/12
小計					383,767	
トルコ			千トルコリラ	千トルコリラ		
国債証券	TURKIYE GOV BOND 31.08	31.08	13,000	13,371	58,807	2028/11/8
	TURKIYE GOV BOND 37	37.0	27,000	26,465	116,399	2026/2/18
小計					175,207	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
国債証券	POLAND GOVT BOND 6	6.0	7,000	7,415	277,287	2033/10/25
小計					277,287	
ロシア			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
国債証券	RUSSIA-OFZ 7.05	0.0	165,000	0.00016	0.0002592	2028/1/19
小計					0.0002592	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
国債証券	MALAYSIA GOVT 3.882	3.882	4,600	4,619	152,932	2025/3/14
	MALAYSIA GOVT 3.885	3.885	5,000	5,087	168,402	2029/8/15
	MALAYSIA GOVT 4.642	4.642	2,200	2,346	77,680	2033/11/7
小計					399,014	
タイ			千タイバーツ	千タイバーツ		
国債証券	THAILAND GOVT 2.125	2.125	45,000	44,872	188,016	2026/12/17
小計					188,016	
インドネシア			千インドネシアルピア	千インドネシアルピア		
国債証券	INDONESIA GOV T 10	10.0	4,000,000	4,009,640	37,289	2024/9/15
	INDONESIA GOV T 7	7.0	24,000,000	24,328,320	226,253	2030/9/15
	INDONESIA GOV T 8.25	8.25	20,000,000	22,237,200	206,805	2036/5/15
小計					470,348	
南アフリカ			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
国債証券	REP SOUTH AFRICA 8	8.0	12,000	11,307	91,252	2030/1/31
	REP SOUTH AFRICA 8.25	8.25	34,000	30,627	247,164	2032/3/31
	REP SOUTH AFRICA 8.875	8.875	18,000	15,799	127,501	2035/2/28
小計					465,918	
中国オフショア			千オフショア元	千オフショア元		
国債証券	CHINA GOVT BOND 3.82	3.82	8,000	8,550	175,437	2027/11/2
小計					175,437	
合計					3,303,772	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) 利率は、期末における利率です。

○投資信託財産の構成

(2024年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 3,303,772	% 92.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	259,695	7.3
投 資 信 託 財 産 総 額	3,563,467	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (3,422,592千円) の投資信託財産総額 (3,563,467千円) に対する比率は96.0%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.7334円、1ブラジルレアル=26.7967円、1ペルーソル=39.3492円、1トルコリラ=4.3981円、1ポーランドズロチ=37.3936円、1ロシアルーブル=1.62円、1マレーシアリンギット=33.1041円、1タイバーツ=4.19円、1インドネシアルピア=0.0093円、1南アフリカランド=8.07円、1オフショア元=20.5173円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 3,563,467,036
コール・ローン等	183,089,725
公社債(評価額)	3,303,772,310
未収利息	67,583,924
前払費用	9,021,077
(B) 純資産総額(A)	3,563,467,036
元本	2,051,061,768
次期繰越増益金	1,512,405,268
(C) 受益権総口数	2,051,061,768口
1万口当たり基準価額(B/C)	17,374円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,7374円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は2,343,629,460円、期中追加設定元本額は3,369,451円、期中一部解約元本額は295,937,143円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

新興国債オープン (毎月決算型) (愛称 アトラス (毎月決算型))  
2,000,639,208円  
新興国債オープン (1年決算型) (愛称 アトラス (1年決算型))  
50,422,560円

○損益の状況 (2023年8月15日~2024年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 248,662,319
受取利息	248,680,350
その他収益金	14,314
支払利息	△ 32,345
(B) 有価証券売買損益	△ 13,125,057
売買益	154,160,196
売買損	△ 167,285,253
(C) その他費用等	△ 2,678,243
(D) 当期損益金(A+B+C)	232,859,019
(E) 前期繰越増益金	1,484,634,661
(F) 追加信託差損益金	2,389,431
(G) 解約差損益金	△ 207,477,843
(H) 計(D+E+F+G)	1,512,405,268
次期繰越増益金(H)	1,512,405,268

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。